

＜ もくじ ＞	
1. 巻頭言：「個人の生き方」と「多様な生き方」の両立をめざして	1
2. 2024年度定時総会・第23回大会開催のお知らせ（再掲）	2
3. 研究会からのお知らせ	2
4. 研究会からの概要報告	4
5. 事務局からのお知らせとお願い	6

## 1. 巻頭言：「個人の生き方」と「多様な生き方」の両立をめざして

「私はどう生きるか」という問いかけは、現代に生きる者にとって避けて通れないものとなって久しい。それと同時に多様な生き方を認め合う社会のあり方も模索されている。しかし、近年の社会の急激な変化の中で、本来両立しうと思われてきたこの二つの課題の間に微妙な齟齬が生まれているような気がしてならない。



日本の経営特質は「集団主義」といわれ、政府にバックアップされた産業は「護送船団方式」と呼ばれる集団態勢をとることで国際競争力を身につけたとされ、これが1950年代から60年代の日本の高度経済成長を支えたのだといわれてきた。しかしながら1980年代中盤以降、「新自由主義」が日本に本格的に導入されて以降状況は大きく変わった。それは国や公共機関の事業を民営化し、すべてを市場のメカニズムに委ねる考え方で、規制緩和、内需拡大を旗印に、日本的経営の集団主義を批判し、能力主義や効率主義に基づく企業の組織改革への圧力となった。そして働く人にとっては、生涯同じ会社のために尽くすという生き方への反省を促し、多様なキャリア選択の道を拓く一方、個人の能力や効率的働き方について個人の責任を厳しく問う傾向をも助長した。

ところがその結果、現実には、企業の利益は従業員よりは株主中心に配分される構造へと変容されることによって、低賃金や非正規雇用の増大を生み出し、働く人の賃金格差やジェンダー間・年齢間格差、社会の分断と対立をもたらすことになった。個人の「多様な生き方」の理念は、自らの選択によるというよりは、大きく変化しつつある社会の仕組みのなかで歪められていると思わざるを得ない。新自由主義を支える価値観の一つである「個人主義」はたしかに滅私奉公的「集団主義」とは対立する側面を持ち、自らの生き方を見つめ直す価値観としての意義は変わらないであろう。とはいえ、ビジネスの世界や大学の研究費獲得競争にみるように、能力主義と効率主義、短期に成果を出すことが個人の責任とされる傾向は、他人を思いやる寛容な個人の理念に合致するものであったのだろうか。また、個人の多様な生き方を相互に認め合う社会を生み出す潜在的可能性をもちうるのだろうか。

本年度のシニア社会学会大会のテーマは「だれ一人取り残さない社会の実現を目指して：共生型コミュニティの創出」と設定された。ヴァーチャル空間での言葉や映像によるリアルな偽装、軍事侵攻やテロ行為を含め先行きの見えない混沌とした世界の状況の中で、われわれは一人ひとり自分の生き方を模索しながらも相異なる生き方を相互に認め合い支え合う関係のあり方により目を向ける必要があるのではないだろうか。当学会の会員には、他者の支援の中に生きがいを見出すような活動に従事している人が少なくない。それらの活動の一部を紹介し、そのような活動を通して「共生型コミュニティ」について議論してみたい。そのような議論の積み重ねが、個人の生き方を大事にするために、お互いに違いと多様性を認め合うコミュニティの創造につながることを期待したい。

事務局長 長田攻一

## 2. 2024年度定時総会・第23回大会開催のお知らせ（再掲）

2024年度の総会と第23回学会大会は、6月22日に市川の千葉商科大学で開催されます。今年度の大会では、シニア社会学会の設立当時の目的を見定めながらも、人口減少・少子高齢化、デジタル化、AI技術の進展などの急激な時代の変化を背景として、具体的に学会員が地域で取り組んでいる活動に焦点を当てながら、多様な人々のつながりのあり方を「共生型コミュニティ」の概念を軸に語り合うことを狙いとしています。久しぶりに会場で皆様とともに議論ができる機会になることを楽しみにしております。懇親会もありますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 1) 開催日：2024年6月22日（土）
- 2) 時間：総会10：30～12：00 大会13：00～16：40
- 3) 会場：千葉商科大学市川キャンパス 7号館711教室（オンライン併用）

### 《第1部》 一般社団法人シニア社会学会総会（会員のみ）

- 2024年度定時総会・臨時理事会10：30～12：00

会員の皆さまには、5月17日に総会招集のメール（一部の方には郵送）をお送りしております。会場参加あるいは書面での議決権の行使をお願いいたします。

### 《第Ⅱ部》 一般社団法人シニア社会学会第23回大会 13：00～16：40

- ◆大会テーマ：「だれ一人取り残さない社会の実現に向けて：共生型コミュニティの創出」

- ・総合司会：八巻睦子（運営委員）
- ・大会挨拶：袖井孝子（会長）

#### ◆シンポジウム

- ・基調講演タイトル：「共生型コミュニティ創出のための媒介組織の役割と実践」  
手塚 明美（認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構 理事長 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ代表理事）
- ・パネルディスカッション：  
「だれ一人取り残さない社会の実現に向けて：共生型コミュニティの創出」  
司会：長田攻一（シンポジウムの趣旨説明とシンポジスト紹介）（案）：
  - ★ 吉竹 弘行：福島で地元学生たちと進める都市養蜂活用による地域活性化（会員、理事、千葉商科大学学長付教授）
  - ★ 齋藤 紀子：行政・企業・無償ボランティアによる対応からこぼれ落ちたニーズに応える有償ボランティア（会員、千葉商科大学準教授）
  - ★ 青山 陽子：社会の期待の外側に居場所をつくる：B型事業所におけるASD（自閉スペクトラム症）者支援の事例から」（会員、3B 実用芸術研究所所長）

※ コメンテーター：手塚 明美

- ・大会閉会挨拶：濱口晴彦（副会長）
- ・懇親交流会：17：00～18：30 千葉商科大学 The University Dining

◆大会参加費：1,000円（支払いはPeatix、振り込み、当日会場） 学生無料

◆懇親交流会：4,000円（申込は6月6日まで、支払いは当日会場で）

※ 総会・大会会場は、市川駅からバス10分、または京成本線国府台駅から徒歩15分

※ 申込方法、参加費・懇親会費支払い方法の詳細はプログラムに詳細を記述して、案内地図とともにメールで会員に送付（一部の会員には郵送）いたします。また、ホームページでもお知らせします。

## 3. 研究会からのお知らせ

### (1) 第160回「社会保障」研究会

- 1) 日 時：2024年5月22日（水） 18：00～20：00
  - 2) 報告者：西下彰俊（東京経済大学教授）
  - 3) テーマ：「スウェーデンの高齢者ケア・再考—その光と影を探る」
  - 4) Zoom でいたしますので、参加を希望される方は、阿部（fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp）にご連絡ください。資料をお送りいたします。
- ※ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで  
090-4436-6853

## (2) 第68回「災害と地域社会」研究会開催案内

- 1) 日 時：2024年5月22日（水） 18：00～20：00
  - 2) 会 場：早稲田大学 26号館 1101
  - 3) 開催形式：会議室対面とZoomのハイフレックス開催
  - 4) 早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」との共催
  - 5) 報告者：浅野幸子さん（地域社会と危機管理研究所招聘研究員）
  - 6) テーマ：「令和6年能登半島地震に関する報告」
- ※ 申し込み、お問合せは、長田まで（pfb00052@nifty.com）

## (3) 第97回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年5月23日（木） 15：00～18：00
  - 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
  - 3) テーマ：著書『コミュニティ学のススメ—ところ定まればこころ定まる—』を読み解く
  - 4) 発表者：薄井 滋、森嶋 由紀子
  - 5) 参加費：300円
- ※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

## (4) 第44回「YNS やまぶき任意サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年5月25日（土） 18：30～20：30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第一グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木真澄、及びその他YNS やまぶき任意後見、アワーズ
- 4) テーマ：認知症とともに生きる 「信託」と「任意後見」のことを考えていきます。

### 劇団「<sup>びしょうざ</sup>B笑座」

認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。人形劇、寸劇、その他劇団員募集しています。Zoomの参加もできます。

※ お問い合わせは、鈴木 真澄（mme\_masumi@yahoo.co.jp）迄お願い致します。

## (5) 第51回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年5月29日（水） 15：00～17：00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 概 要：「えびすまほ」見学報告、今後の研究会の進め方

※参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

## (6) 第52回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2024年5月31日（金） 17：30～19：30
- 2) 場 所：Zoomにて開催
- 3) テーマ：第51回のテーマ『人生100年時代を生きるリテラシー』から好きなテーマを選んでいただき、一人ずつアウトプットしていただきます。

※ 参加希望の方は、資料『人生100年時代を生きるリテラシー』とともにZoom招待状をお送りいたしますので、中村まで、ご連絡をお願いいたします。

宛先は、(nakamurayoshiko6@gmail.com) です。

会員の皆さまは勿論、どなたでもご参加可能です。皆さまのご参加お待ちしております。

#### (7) 第69回「災害と地域社会」研究会開催案内

- 1) 日 時：2024年6月19日(水) 18:00~20:00
  - 2) 会 場：早稲田大学26号館1102
  - 3) 開催形式：会議室対面とZoomのハイフレックス開催
  - 4) 早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」との共催
  - 5) 報告者：所澤新一郎氏(共同通信社 編集局気象・災害取材チーム長)
  - 6) テーマ：「能登半島地震の現状と教訓」(仮)
- ※ 申し込み、お問合せは、長田まで (pfb00052@nifty.com)

## 4. 研究会からの概要報告

### (1) 第50回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時：2024年4月17日(水) 15:00~16:30
- 2) 場 所：ちよだプラットフォームスクウェア501会議室、Zoom 併用
- 3) テーマ：合同イベントの振り返りと「えびすまほ」見学、5月以降の研究会活動について
- 4) 概要

#### ①5月以降の研究会活動について

##### 【八巻 提案】

- ・5月は、「えびすまほ」の見学報告を予定  
「えびすまほ」は平岩千代子さんが恵比寿で主宰する高齢者とスマホを楽しむ会
- ・6月以降は月ぎめでファシリテーターを決めて、テーマ決めと進行をお願いする形式でということではいかが？

##### 【CPS 参加者議論】

- ・安田さんのスマホ導入に向けて疑問点を解決していくテーマを設定
- ・知識不足→インターネットリテラシーの不足ととらえて、ITリテラシーをテーマに！さらに情報の見極めも含めた情報リテラシーといったテーマに進む。

#### ②合同イベントの振り返り(アンケートの自由記述を参考に)

##### 【リスクについて】

- ・「知らないからの不安」があるだけ(現実の不安ではない)
- ・「使いたくない理由」を検討する必要。高齢者がワクワクすることがなくなっている。それが大きな理由では？

##### 【スマホとSNSから見える、コミュニケーションの多様・多層な構造】

- ・誰と繋がっているか、パーソナルネットワークとメディアの問題。
- ・普通は高齢になると、人との繋がりネットワークは縮小するが、そうでない人もいる。  
その場合はSNSだけでは足りない。電話とかF2Fとかは必須。(森 記)

### (2) 第159回「社会保障」研究会報告要旨

- 1) 日 時：2024年4月24日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：袖井孝子(一般社団法人シニア社会学会会長)
- 3) テーマ：「日本の社会保障、ここが問題」
- 4) 参加者：27名

戦後日本の社会保障制度は、戦争被害から立ち直るための緊急措置として出発した。その後、経済成長期を経て、社会保障制度の基本的な枠組みが成立している。当時日本は福祉国家をめざしていたが、1973年の第一次石油ショック以降は、小さな政府がめざされるようになった。

日本の社会保障制度の問題点は、①ピラミッド型の人口構成を前提、②男性が世帯主の片働き世

帯を前提、③国民負担率というまやかし、④目的外使用の4点にまとめられる。

国民皆年金皆保険制度が成立した1961年には、日本の人口構成は高齢者が少なく若者の多いきれいなピラミッド型を描いていた。しかし、今では後期高齢者人口が子ども人口を上回り、支える人よりも支えられる人のほうが多いため、社会保障制度を維持することが困難になった。

厚生年金のモデル年金は、夫は40年間働き、妻は無業の夫婦を前提にしているが、こうした夫婦はもはや少数派である。今や雇用者共働き世帯が夫は雇用者で妻は無業の世帯を上回る。保険料を支払うことなしに老後は老齢基礎年金が受けられる第三号被保険者制度は、まったく現状に合わなくなっている。

国民負担率とは、税と社会保障費の国民所得に対する比率を示すものである。福祉国家に比べて税負担の少ない日本は国民負担率が低いということが、福祉国家批判の根拠にされてきた。しかし、膨大な赤字国債を含めると潜在的国民負担率は、ヨーロッパの福祉国家なみである。

政府は、異次元の少子化対策の名目で、出産育児一時金を医療保険から拠出したり、医療保険と一緒に子育て支援金を集めようとしている。これは社会保障制度の目的外使用である。

解決策として以下の点をあげる。①第三号被保険者制度の廃止、②世帯単位から個人単位への変更、③高齢者への給付を削減して子どもに回すのではなく、公費や企業の負担を増やす、④保険料への過度の依存を止め、増税をする。そのためには、喜んで納税するような信頼するに足る政府であることが肝心である。  
(袖井孝子 記)

### (3) 第96回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2024年4月25日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：著書『コミュニティ学のススめところ定まればところ定まるー』を読み直し、改めて「コミュニティ」を考える

濱口座長の示唆により設定した当テーマに関し、活発な論議が交わされた。まず、濱口座長から当テーマを取り上げた経緯として、1つは今年度のシニア社会学会のメインテーマがコミュニティであることから、当研究会が2016年3月に発行した該著書で分析した言葉との解釈について再検討しておきたいこと。2つ目は、コミュニティという言葉は、著書発行時と今日では使われ方が異なって来たこと。もう一度この言葉が用いられ始めた往時に戻り、この言葉の由来を学習しておくことが必要ではないだろうかという問題意識があったこと。そして、問題提起としては、いまコミュニティをドイツ語でゲマインシャフトと言っていた往時の社会的背景抜きに論じることができず、途方に暮れている、いわゆる時代のずれが生じているという感覚であること。次回研究会(第97回)で再度論じられることになっているので、その場で改めて軌道修正を合理的に試みたいと述べられた。

座長のメッセージと共に、参加者それぞれから、コミュニティの定義、今日のネットコミュニティ、コミュニティ作り、ゲマインシャフトとゲゼルシャフト、コミュニティとアソシエーション、コミュニティの存続の危機などの課題について、活発な論議が交わされた。(島村健次郎 記)

### (4) 第51回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2024年4月26日(金) 17:30~19:30
- 2) 報告者：「シニア社会のリテラシー」研究会から森嶋由紀子さんがゲストスピーカーとして参加。
- 3) タイトル：資料：「人生100年時代を生きるリテラシー」について詳細な解説
- 4) 場 所：Zoomにて開催

#### 《参加者の声》

- ・知らないことが沢山あった。子や孫世代の社会の変貌が心配。認知症は2025年に700万人。団塊世代が後期高齢者となりMCI(軽度認知障害)が1/5の時代になってくる。(長谷川)
- ・老いや老人の問題はずっと先の事かと思っていたら、自分自身がどっぴりと「私は老人なんだ!」と気が付いた。考えなければならぬことがあり過ぎて「オタオタ状態!」というのが

正直のところですよ。(岡田)

- 色々かんがえさせられることばかりだった。フレイルの入り口は、「社会」との関りが少なくなっていくこと、自分から踏み出さないと「社会」とは関われないと思った。(清水)
- 退職して自由な気持ちでいる自分、社会制度の様々な仕組みの中で生きていることを改めて知った。神谷美恵子さんの『生きがいについて』[みすず書房]を思い出しました。(栗野)
- 今、世の中はステージがどんどん変貌して行って追いつかない。仲代達矢さんは92歳で現役だが、「見栄を張るのも大事、背筋を伸ばすことも大事！」とおっしゃっていて、私も「見栄を張ることは大事」と思った。(柴本)
- 敬老の日に孫から「じいじ、大好き！」とメッセージを貰って寿命が5歳延びた気がした。身近なところで、小さな幸せを感じる事が大事と思った。(若井)
- 今回、森嶋さんが参加されて、詳細に解説、質問事項も丁寧に解説していただき感謝です。今後の研究会のテーマの指針の参考になりました。ありがとうございました。(中村昌子 記)

#### (5) 第43回「YNS やまぶき任意サポート会」の報告

- 1) 日 時：2024年4月27日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第一グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：認知症とともに生きる

劇団 <sup>びしょうざ</sup>「B笑座」

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。Zoom参加者もできます。(鈴木眞澄 記)

## 5. 事務局からのお知らせとお願い

### <会費納入について>

今年度の年会費を6月30日までに振込みください(6月中旬送付のエイジレスフォーラムに郵便振替用紙を同封します。銀行振り込みも可)。

### <会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・メールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

### <2024年6月JAAS Newsの発行日>

次回JAAS News第298号の発行日は、2024年6月19日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、6月14日(金)までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア1037  
eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>